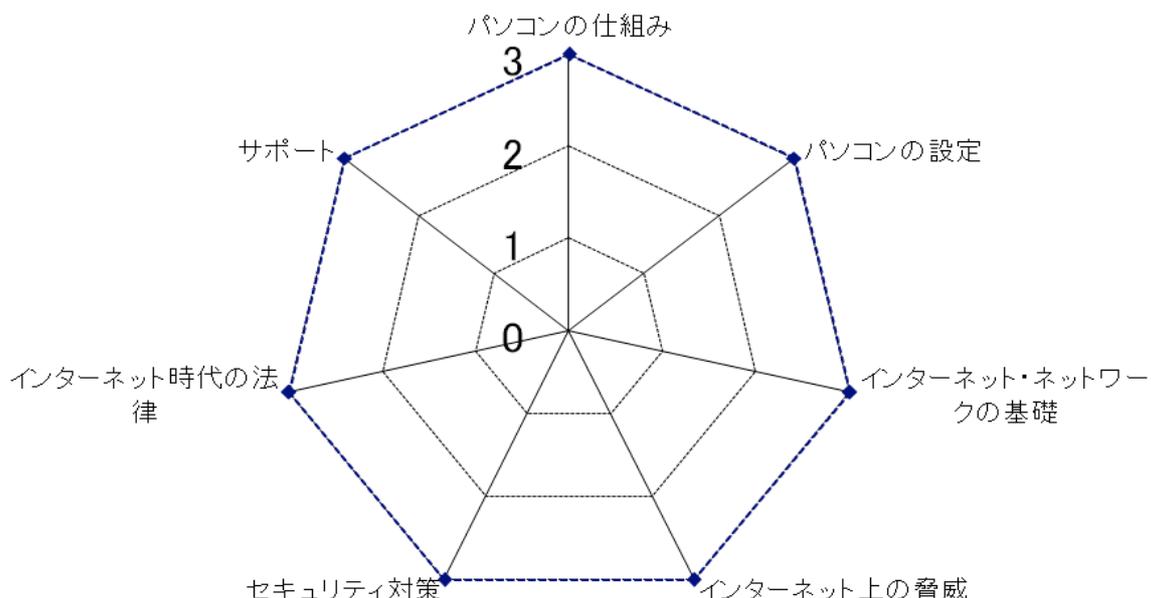


SPREAD 情報セキュリティサポータースキルマップ β 1.3

1, SPREAD 情報セキュリティサポーターに必要な知識の分野

“SPREAD 情報セキュリティサポーターマップ”は、情報セキュリティサポーターのスキルを分析し評価する指標です。SPREAD 情報セキュリティサポーターには、情報セキュリティに関わらず、PC の仕組みや法律そしてサポートの仕方など広く正確な知識が求められます。SPREAD 情報セキュリティサポーター検定には以下 7 領域から均等に出題されます。



■パソコンの仕組み

HDD やメモリなどに関するハードウェアに関する知識、BIOS やドライバに関する知識、OS やアプリケーションおよびインストールやアンインストールに関する知識がある

■パソコンの設定

デスクトップやスクリーンセーバーの変更、スタンバイ、ハイバネーションなどの設定、ユーザアカウントの設定やパスワードの管理などが可能。

■インターネット・ネットワークの仕組み

メールソフトの設定ができる。家庭内ネットワークの構成が理解でき、無線 LAN やブロードバンドルータが可能。

IP アドレス、NAT 機能などネットワークに関する基礎知識がある。

■インターネット上の脅威

マルウェア（ウイルス、スパイウェア、ボットなど）、インターネット詐欺、なりすまし、ソフトウェアのぜい弱性、Winny の問題点についての知識がある。

■セキュリティ対策

OS 他ソフトウェアのアップデート、セキュリティ対策ソフト（ウイルス対策、ファイアウォール）の利用ができる。安全な WEB の確認（SSL、証明書など）ができ、電子署名・安全なデータの移行（ファイル、フォルダ、HDD の暗号化など）など暗号についての基礎知識がある。

■インターネット時代の法律

データ改竄、不正アクセス、著作権、個人情報、誹謗中傷・名誉毀損・プロバイダ責任制限法についての基礎知識がある。また、違法ではない有害情報に関して対応できる。

■サポート

サポートが初心者をサポートしていく上で、ユーザの情報セキュリティ体制づくりをアドバイスするにあたり、何から守るか（機密性・完全性・可用性の視点）、どんな対策をとるのか（組織・技術・人・物理的安全管理措置の視点）、何からどう進めていくのか（PDCA の視点）を把握している。サポートとしての礼儀や規範などについても重要視している。

2, SPREAD 情報セキュリティサポーターのスキルレベル

SPREAD 情報セキュリティサポーターのスキルレベルは、3 段階に分かれています。

サポーターにとっては、レベル 2 を超える知識は必要となります。

■レベル1 基本的事項の理解と基本的なセキュリティ対策の実施

PC やインターネット、情報セキュリティに関する基本的事項に関する知識を有しており、PC やインターネットの安全安心の為対策を実施できる。

模擬問題1

パソコンのデスクトップに見慣れないファイルがありました。

まず最初に対処として間違っているものを選びなさい。

- (1) ウィルス対策ソフトで、そのファイルをスキャンしてみる。
- (2) ウィルス対策ソフトで、パソコン全体をスキャンしてみる。
- (3) どんなファイルかまずクリックして開く。
- (4) パソコンからネットワークケーブルを抜く。

■レベル2 PC やインターネットのよくある攻撃とトラブルについて理解とその適切な対策
実際に PC・インターネットへどのような攻撃が行われているのか、その被害にあわない為、
または加害者とならない為の知識。また著作権や個人情報についての知識。

模擬問題2

インターネットをプロバイダ(ISP)と契約して、電話線を使ったADSLで引きました。NATという仕掛け
を使えるようにしておきました、と言われましたが、この NAT の効果について当てはまるもの
を選んでください。

- (1) コンピュータと電話を同時に使えるようにする
- (2) インターネット側からの不正アクセスを防止する
- (3) SPAM メールを削除する
- (4) フィッシング被害を防止する

■レベル3 PC・サーバ・ネットワークへの攻撃へ高度な攻撃、インターネット関連法について
の知識

より巧妙になってくる攻撃について理解し、その危険性について説明できる。また、誹謗中
傷などインターネット特有のトラブルについてアドバイスができる。

模擬問題3

インターネット上でコンピュータを狙った攻撃は多々あり、年々巧妙になってきています。次の中
で、コンピュータやネットワークへの攻撃方法ではないものを選びなさい。

- (1) SQL インジェクション
- (2) クロスサイトスクリプティング
- (3) バッファオーバーフロー攻撃
- (4) インシデント

3. SPREAD 標準テキストとの関係および出題率

SPREAD 情報セキュリティサポーターマップは、SPREAD 標準テキストと以下の関係にあります。また、出題率例を示します。

スキルマップ	標準テキスト(番号、目次)		出題率例
パソコンの仕組み	4	パソコンのしくみ	8%
	5	パソコンの性能	
パソコンの設定	6	ソフトウェアの追加と削除	19%
	7	パソコンを自分流に設定する	
	8	パソコンの利用者の設定	
	9	表示の設定 拡張子や隠しファイルの表示	
インターネット・ネットワークの仕組み	11	インターネット、ホームページ、メールのしくみ	10%
	12	様々なネットワーク	
インターネット上の脅威	13	インターネットが抱える問題	25%
	14	インターネット詐欺	
	15	悪意あるソフトウェア(マルウェア)	
	16	迷惑メール	
	17	さまざまな脅威	
セキュリティ対策	10	パソコンを守るしくみ	25%
	18	安全安心対策:ソフトウェアのアップデート	
	19	安全安心対策:ウィルス対策ソフト	
	20	安全安心対策:ファイアウォールの種類と働き	
	21	安全安心対策:情報の安全な受け渡し方法(暗号)	
	22	安全安心対策:バックアップ	
	23	安全安心対策:情報の 保護の視点	
インターネット時代の法律	24	インターネット関連法① データ改竄、不正アクセス	8%
	25	インターネット関連法② 著作権	
	26	インターネット関連法③ 個人情報、誹謗中傷	
	27	インターネット関連法④ 有害情報	
サポート	28	安全安心なインターネット社会へむけて	0%

作成履歴

β 1	2009. 7. 14	
β 1. 1	2009. 8. 12	出題問題との対応付け
β 1. 2	2009. 9. 9	問題のレベルと模擬問題を追加
β 1. 3	2009. 9. 30	標準テキストβ 7. 2 と対応表を追加